

2025年10月7日

木津川市長 谷口 雄一様

南加茂台自治会
会長 川添 倫男

公共交通に関する要望について

南加茂台自治会活動へのご支援・ご協力ありがとうございます。

奈良交通の路線バスの加茂線に関して、木津川市の公共交通計画に「路線バスの維持」等に関する目標を追加され、国への補助金申請などをされていますことに深く感謝申し上げます。

自治会では、加茂線の維持にとどまらず公共交通に関することを検討する「地域公共交通対策委員会」を設置し、のべ14回の委員会を開催し路線バスの運行継続・公共交通の充実を課題として検討してきました。

公共交通を維持していくために、自治会として利用促進のキャンペーンを行うとともにより一層の利用者の増加に必要な課題を検討するため「アンケート調査」を実施しその結果を取りまとめました。（別紙1）

このアンケート結果や「地域公共交通対策委員会」での検討によりまとめた要望事項（別紙2）に関して自治会と木津川市との協議・懇談の場を設けていただきますよう要望いたします。

自治会事務所の案内

開いている曜日と時間：火水木金土（祝日を除く）・10時～15時
所在地：木津川市南加茂台1丁目1番2
電話番号：0774-76-4799
FAX番号：0774-76-7644
メールアドレス：ngmdj@zeus.eonet.ne.jp

公共交通に関するアンケート集計（別紙１）

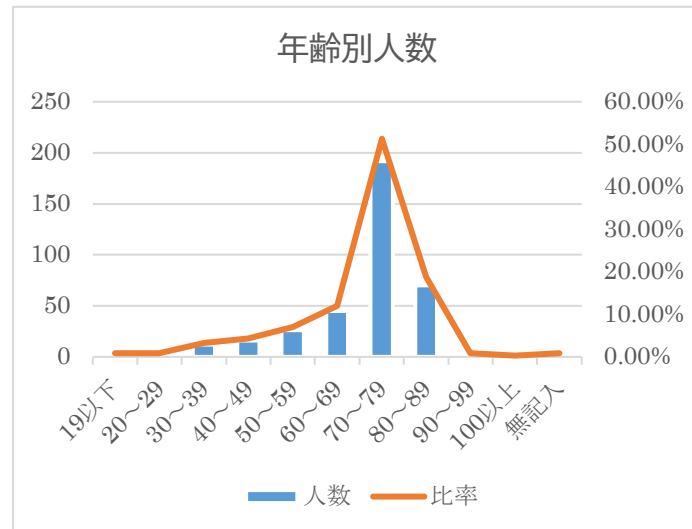
2025年8月
南加茂台自治会

アンケート調査の結果

自治会が行った、公共交通の利用促進のために南加茂台住民の移動手段の実態と公共交通に求める願い・要望などを2025年7月30日期限で行ったアンケート調査は、374名の方からの協力を得ることができました。アンケートの回答者は、南加茂台地域の年齢構成比以上に高齢者からの回答が多くありました。

年齢別の回答者

区分	人数	比率
19以下	3	0.8%
20～29	3	0.8%
30～39	12	3.2%
40～49	16	4.3%
50～59	26	7.0%
60～69	45	12.0%
70～79	192	51.3%
80～89	70	18.7%
90～99	3	0.8%
100以上	1	0.3%
無記入	3	0.8%
合計	374	



2025年1月から6月の期間の移動について

①移動手段について

区分	人数	比率
公共交通のみを利用	45	12.0%
どちらも利用した	293	78.3%
公共交通を利用していない	33	8.8%
その他	2	0.5%
合計	373	

②公共交通を利用していない理由（回答実人数167人）

区分	人数	比率
自家用車を使用	131	78.4%
希望時間に運行していない	53	31.7%
時間短縮のため	53	31.7%
体調・健康上のため	10	6.0%
その他	5	3.0%

③利用している公共交通機関（回答実人数３４２人）

区分	人数	比率
電車	321	93.9%
バス	244	71.3%
タクシー	38	11.1%

④６か月間の利用日数（回答実人数３４２人）

区分	日数	利用人数	一人あたり 利用日数	最多利用日数 人数	最大 利用日数	最小 利用日数
電車	6485	305	21	10日34人	168日1人	1日23人
バス	5771	240	24	10日23人	180日2人	1日21人
タクシー	177	49	4	1日20人	20日1人	1日20人

⑤利用バス停・駅（回答実人数３３１人）

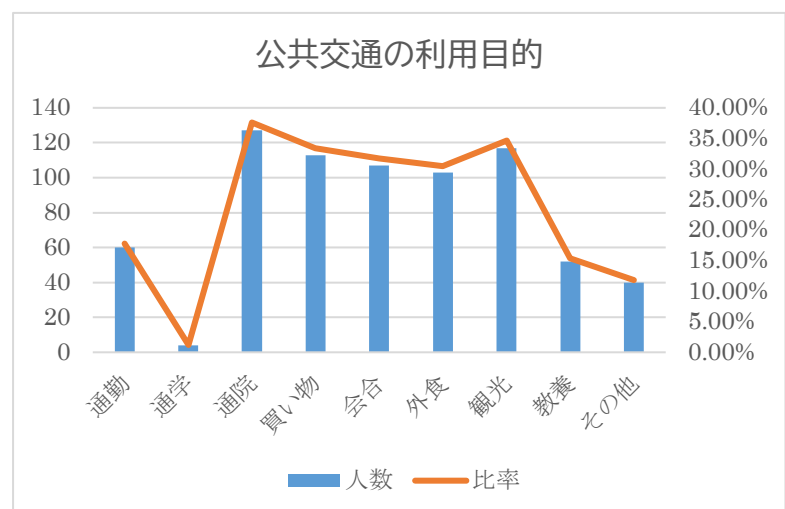
区分	利用人数	比率
1丁目	13	3.9%
2丁目	13	3.9%
5丁目	188	56.5%
塚穴公園	97	29.0%
京内橋	31	9.4%
加茂駅	249	74.3%
木津駅	124	36.9%
祝園駅	28	8.5%
JR 奈良	157	46.8%
近鉄奈良	164	48.6%
高の原	58	17.2%
山田川	19	5.7%
新祝園	37	11.2%

奈良駅の利用が最も多くなっていますが、加茂駅の利用の多さが特徴的です。木津駅の利用は、加茂駅からの利用者と木津駅まで自動車を利用しＪＲを使っていると思われます。

⑥公共交通利用目的（回答実人数３３８人）

区分	人数	比率
通勤	60	17.8%
通学	4	1.2%
通院	127	37.6%
買い物	113	33.4%
会合	107	31.7%
外食	103	30.5%
観光	117	34.6%
教養	52	15.4%
その他	40	11.8%

通院・買い物・観光・外食の目的で利用する人が多く、通勤・通学に比べて幅広い時間帯での利用実態があると思われます。



路線バスの維持方策（回答実人数３４８人）

区分	人数	比率
具体策協議	197	56.6%
利用者を増やす努力	173	49.7%
関係者に働きかけ	104	29.9%
利用促進ビフォーアフター	60	17.2%
高齢者割引制度導入	180	51.7%
持続的キャンペーン	89	25.6%
その他意見	35	10.1%

主な意見

割引制度による利用の意識付けを行い利用者の増加をすること。
 自家用車による送迎が交通渋滞の原因となりバスの運行に遅延が生じているのではないかと。
 各人が利用に努力すること。
 観光資源を活性化し外部利用者を増やす。沿線の定住人口を増やす。３ヶ月に１度は利用者状況を報告してもらう。

路線バスは、ライフラインであり、自治体や国

がバックアップすること。公的な援助の制度化が利用者を増やす対策と併用して進めていく必要がある。

公共交通の利用を増やす方策（回答実人数３４０人）

区分	人数	比率
運賃を安くする	188	55.3%
便数を増やす	196	57.6%
バス経路を改善	139	40.9%
ハンディキャップ対応	55	16.2%
その他	42	12.4%

主な意見

加茂駅での乗り継ぐバスが無い時間があり利用しにくいことの改善や梅美台での乗り継ぎ連絡の改善と乗り継ぎ料金体系をつくること。

電車・バスの便数を増やすこと、車椅子など身体にハンディキャップを持つ方の利用をしやすいすること。

浄瑠璃寺、岩船寺に行くインバウンド利用を増やす。紫

陽花シーズン、紅葉シーズンを SNS でアピールしてバスを利用してもらうなど加茂駅の活性化やイベント開催の提案がありました。

都市から近く里山など自然を強調し地域外へ広報することで利用者を呼び込むこと。

若い家族が引っ越したくなる南加茂台・周辺のまちづくりを検討する委員会を住民・行政・自治会で設立すること。奈良交通、木津川市、利用者の３者協議を継続すること。

バスの経路を改善すること、コミュニティバスを木津川市内で循環する様にする。イオンやアルプラザ、城山台の店などに行ける様にする

バスの経路を改善すること、車椅子など身体にハンディキャップを持つ方の利用をしやすいすること、主要施設への経路の改善を願いたい。市役所、山城病院、大型商業施設等に高齢者等が安全に行けるよう配慮が必要

改善要望事項(要約)

◎ 駅やバス停などの施設・設備・車両の改善要望

南加茂台内のバス停だけでなく梅美台西バス停は乗り換えバス停だが屋根や椅子を設置されていない箇所があり困っていることや木津駅での乗り換え時間が長く待合室が狭いことなどの指摘がありました。また、加茂駅にエスカレーターを設置することの改善要望がありました。

車いすや乳母車が簡単に安心して乗降できる乗り降りしやすい車両を求める意見がありました。

奈良交通バスのカードのチャージする機械が五丁目にあれば、もっと利用が増えるのではないかと意見や駅ロータリーのバス停付近に、コンビニやカフェを設置することで空調、Wi-Fi、充電、座れる場所があれば、待ち時間に仕事や雑務を処理でき有効な時間を過ごせるとの意見がありました。

◎ 加茂駅～南加茂台五丁目間の現行のバス路線を塚穴公園まで延伸について

圧倒的に賛成意見が多くありましたが、Ｕターンの問題や運行経費など具体的に運行する場合の課題についての指摘もありました。

具体的に１丁目から直進して京内橋、塚穴公園を経由して南加茂台五丁目から加茂駅方面に向かう循環運行の提案や１５丁目・小学校・１１丁目方面へのバス路線を求める意見がありました。

◎ JRや奈良交通バスなどの公共交通事業者への要望・意見（概要）

バスの運行回数や乗り換え・乗り継ぎについての要望、交通渋滞による遅延対策、市役所や病院などへの移

動を確保するための新路線の運行要望がありました。

JRについても、運行回数の増加や遅延に対応する手立てを求める要望がありました。

コミュニティバス当尾線を南加茂台経由にする提案もありました。

公共交通の維持に民間事業者には限界があり、諸外国と同じように路線は官が維持し、運行は民とすることが基本と思うとの意見、利用者把握・PR強化による利用者を増やす取り組み、事業者・市・地域住民の情報共有をより一層進める意見などがありました。

自動車を運転しなくなった時の移動手段（回答実人数２９８人）

区分	人数	比率
公共交通を使う	278	93.3%
家族・友人に頼る	52	17.4%
自転車や徒歩	103	34.6%
外出の機会減少	202	67.8%
その他	15	5.0%

高齢者の移動を支援する「ちょこっとながも」の目的が、外出による健康維持としていることを考えると、外出の機会の減少が健康にマイナスとなるため、移動しやすい手段の確保が必要となっている。

移動目的に対応した便利な公共交通を進めていく必要性を示している。

自治会への要望・意見

公共交通に関することだけでなく、会員の減少への対応や南加茂台に若い世帯を呼び込む対策など街づくりにかかわる意見もありました。

「アンケートで出た意見を公表してほしい」との意見がありましたので、自治会ホームページにアンケート結果と要望意見の概要を掲載します。

◎ 公共交通に関する主な要望・意見

公共交通利用促進のためには、バス利用と自家用車利用との比較パンフレットの作成。

バス旅やバス経路にある観光地の案内パンフレット・ポスターの作成。

高齢化による問題も出てくるでしょうが、少しでも良い地域づくりのため、住みよい南加茂台になるようお願いしたい。

現在、設置の自治会主導の３者協議を充実し本音で建設的な意見を述べ、積み重ねて、お互いの信頼関係を築き上げるに尽きる。この前提あれば『切り捨てごめん』の発想は防げる。

奈良交通や市に頼らず自治会独自のマイクロバス運行による計画をすること

自治会で将来像を描いて提案すべきでしょう。個々の断片的意見は説得力が乏しい。現状の公共交通機関の維持のみに頼らず、その先の住民の足確保についてそろそろ検討に入るべきだと思います。「ちょこっとながも」の利用状況も踏まえてさらに路線を拡大した展開もあるのでは。自治会から市・バス会社への提案！

路線廃止が決まる前に通勤・通学対策とコミュニティバス路線変更、予算などを市と話し合ってもらいたい。「ちょこっとながも」の利用状況を調べ路線バスとの連携を図る方法はないか市と協議してもらいたい。

◎ 街づくり・自治会活動に関する主な要望・意見

老人を対象にするのではなく、若者を呼び込む集客場所の建設などの施策を木津川市に要望・意見をして欲しい。

自治会の会員の減少が問題になっているようですが、自治会に入るとどんなことできるのか、何をしているのか、なぜ必要なのかあまりみなさんに伝わっていないように思います。私は南加茂台小学校出身ですが、自治会が何をしているのか、どんなことをしているのか等を教わったことがありません（軽トラックが借りれるなんてこのホームページを訪れて初めて知りました）。

学校や行事などで子どもたちや居住者に利点をアピールしていくことがとても大事だと思います。

南加茂台の公園に手洗い用の水道がない場所が多いので設置してほしい。

バスのことだけでなく街の運用に関しても住民の意見収集・協議が重要だと思います。

要望事項

南加茂台自治会

公共交通の利用促進のため、下記の項目を木津川市・奈良交通株式会社・ＪＲ西日本へ要望いたしますので、ご検討をお願いいたします。

記

１． 木津川市への要望

- ①加茂駅の自由通路へのエスカレータを設置すること
- ②利用促進のため奈良交通・ＪＲ・木津川市と自治会（地域住民）との協議の場を設置し情報の共有をすすめること
- ③高齢者を対象とした運賃割引制度をつくること

２． 奈良交通株式会社への要望

- ①奈良方面への運行便数を従来の回数へ戻すこと
- ②南加茂台の南側部分（１０丁目から１５丁目など）への路線や木津駅方面への路線をつくれないうか検討すること
- ③現行の加茂駅発５丁目行き（１０７）を京内橋から塚穴公園経由で５丁目への経路となるよう変更すること
- ④梅美台西での州見台方面への乗り換えタイミングの改善と乗り継ぎでの運賃軽減制度の検討をすること
- ⑤加茂駅での電車の遅れを配慮したバスの運行をすること
- ⑥バス停への屋根やベンチの設置をすること
- ⑦車いすやバギーが乗り降りのしやすいようにすること
- ⑧奈良交通 IC カードのチャージ機を５丁目に設置すること
- ⑨加茂線の利用実績データを定期的に自治会へ提供していただくこと

３． ＪＲへの要望

- ①運行便数を１時間に２本以上とすること
- ②加茂行きの快速が運行の都合で奈良止まりとなる場合や加茂駅到着が遅延するときの代替手段などの対応を充実させること
- ③加茂駅へのエスカレータを設置すること